

坂出市障がい者福祉に関するアンケート調査へのご協力のお願い

日頃より坂出市の障がい福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

坂出市では将来にわたって安全で安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、坂出市障がい者福祉計画の中間見直し、および第7期障がい福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。

このアンケート調査は、18歳以上の市民の皆さまから無作為に選ばせていただき、日ごろ、障がいの状況にある人とどのように関わっているかなど、障がい者福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるため実施させていただくものです。

無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年6月
坂出市長 有福 哲二

<記入要領>

- ・この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
- ・宛名のご本人が直接回答いただくことがむずかしい場合には、家族の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- ・質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく確認してお答えください。
- ・記入が終わりましたら、**●月●日(●)**までに同封の返信用封筒(切手不要)を使ってご返送ください。
- ・このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

坂出市 ふくし課 障がい福祉係		
電	話:0877-44-5007	ファックス:0877-45-7270

回答方法について

1. 郵送による回答、2. インターネットによる回答、いずれかの方法でご回答ください。

1. 郵送による回答

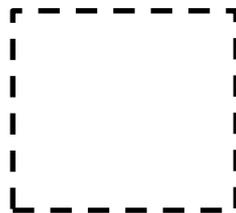
調査票に直接○印をご記入いただき、回答期限までに同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手不要)

2. インターネットによる回答

(1) 回答用サイトにアクセスする

スマホから

右のQRコードを読み込み、
アクセスしてください。



パソコンから

下記URLをウェブブラウザ上で入力し、アクセスしてください。

https://

(2) Web上の表示に従って回答

①まずはじめに、同封されている「坂出市障がい者福祉に関するアンケート調査 調査票」の表紙上部に記載されている8ケタの整理番号を半角でご入力ください(必須入力)。

(例) 整理番号 : 12345678

**坂出市障がい者福祉に関するアンケート調査への
ご協力をお願い**

日頃より坂出市の障がい福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
坂出市では将来にわたって安全で安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、坂出市障がい者福祉計画の中間見直し、および第7期障がい福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。
このアンケート調査は、18歳以上の市民の皆さまから無作為に選ばせていただき、日ごろ、障がいの状況にある人などのように関わっているかなど、障がい者福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるため実施させていただくものです。

こちらの整理番号
(8ケタの数字)を
半角で入力してください

※整理番号は、インターネット回答と郵送回答との重複集計を防ぐために無作為に割り振った数字であり、個人を識別するためのものではありません。

②すべての回答の入力が完了しましたら、「送信」をクリックしてください。以上で回答完了となります。

I あなたご自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別を、おうかがいします。(1つに○)

- 1 男性 2 女性 3 その他 4 回答しない

問2 あなたの年齢は●月●日現在、満何歳ですか。数字をご記入ください。

()歳

問3 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。(1つに○)

- 1 西部地区 4 金山地区 7 加茂地区 10 川津地区
2 中央地区 5 西庄地区 8 与島地区 11 松山地区
3 東部地区 6 林田地区 9 府中地区 12 王越地区

※地区がわからない場合は町名をご記入ください。(町)

問4 あなたの身近に、障がいがある人がいますか、または、これまでいたことがありますか。(1つに○)

- 1 いる(いた) 2 いない

問5 問4で「1 いる(いた)」と回答した方におうかがいします。

身近とはどのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分自身または家族等身近な親族にいる(いた) 5 仕事関係(自分の職場以外)にいる(いた)
2 近所にいる(いた) 6 趣味等の活動の場にいる(いた)
3 学校にいる(いた) 7 その他()
4 自分の職場にいる(いた)

II 障がいがある人の福祉への関心などについておうかがいします。

問6 あなたは、障がいがある人への福祉について関心をお持ちですか。(1つに○)

- 1 とても関心がある 3 どちらともいえない 5 全く関心はない
2 ある程度関心がある 4 あまり関心はない

問7 問6で「1 とても関心がある」「2 ある程度関心がある」と回答した方におうかがいします。

障がいがある人の福祉に対して関心をお持ちなのは、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 家族や知人等に障がいがある人がいる(いた)から |
| 2 福祉に関する職業に就いている(いた)から |
| 3 福祉活動やボランティア活動をしている(いた)から |
| 4 テレビや雑誌等での報道を見聞きしている(いた)から |
| 5 市の広報やホームページなどで、障がいがある人に関することを目にするから |
| 6 家族や知人等から福祉に関する話を聞くから |
| 7 その他() |
| 8 特になし |

Ⅲ 障がいがある人の雇用についておうかがいします。

問8 あなたは、障がいがある人の職についている状態は十分足りていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1 思う | 2 思わない | 3 わからない |
|------|--------|---------|

問9 問8で「2 思わない」と回答した方におうかがいします。

あなたは、障がいがある人の就労機会は現状より増えるべきだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえばそう思わない | |

問10 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 通勤手段の確保 | 7 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携 |
| 2 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮 | 8 仕事の内容に合った就労訓練 |
| 3 短時間勤務や勤務日数などの配慮 | 9 仕事についての職場外での相談対応、支援 |
| 4 在宅勤務の拡充 | 10 障がい者法定雇用率の達成企業等の増加 |
| 5 職場の障がい者理解 | 11 その他() |
| 6 職場で介助や援助などが受けられること | |

VI まちづくりについておうかがいします。

問17 あなたは、世の中が地域共生社会に向けて前進していると感じますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 とても前進していると感じる | 3 あまり前進していると感じない |
| 2 少しずつ前進していると感じる | 4 全く前進していると感じない |

※地域共生社会とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。

問18 障がいのある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか。(主なもの5つまで○)

- | |
|--|
| 1 何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実 |
| 2 サービス利用の手続きの簡素化 |
| 3 行政からの福祉に関する情報提供の充実 |
| 4 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上 |
| 5 参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実 |
| 6 いろいろなボランティア活動の育成 |
| 7 在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実 |
| 8 リハビリテーションや生活介護・就労継続支援などの通所施設の整備 |
| 9 地域でともに学べる保育・教育内容の充実 |
| 10 就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援の充実や働く場所の確保 |
| 11 障がいの有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実 |
| 12 利用しやすい道路・建物などの整備・改善 |
| 13 障がい者に配慮した公営住宅や、グループホームの整備など、生活の場の確保 |
| 14 災害のときの避難誘導體制(緊急通報システムなど)の整備 |
| 15 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実 |
| 16 本人や家族の積極性 |
| 17 その他() |

最後に、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。